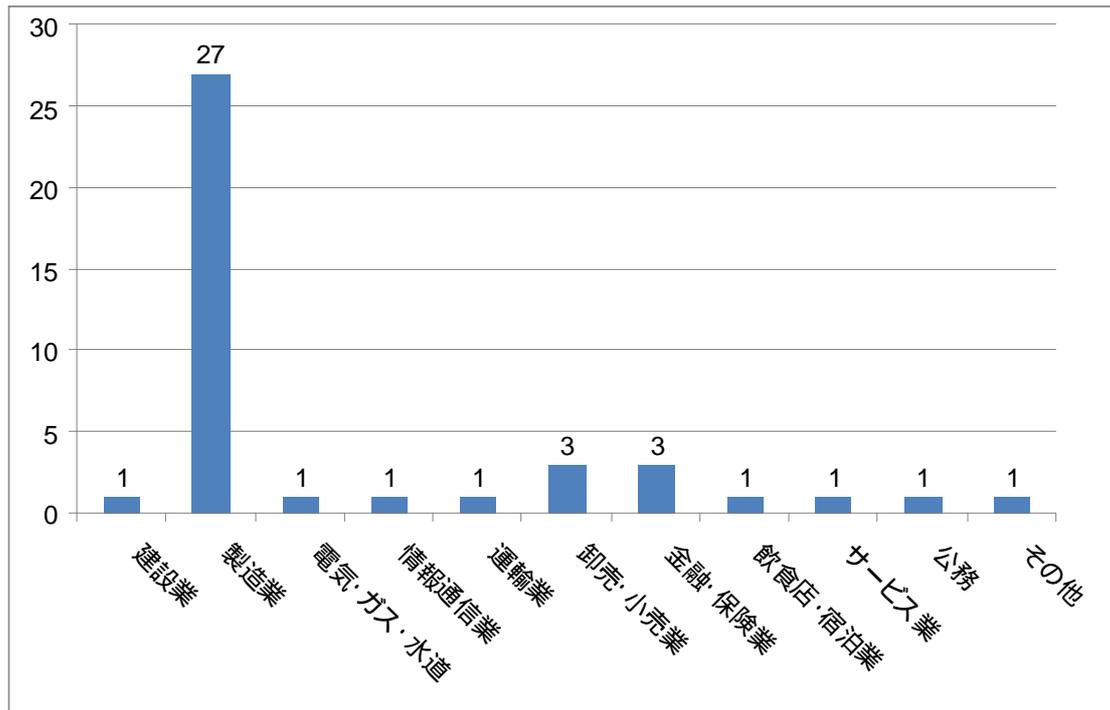
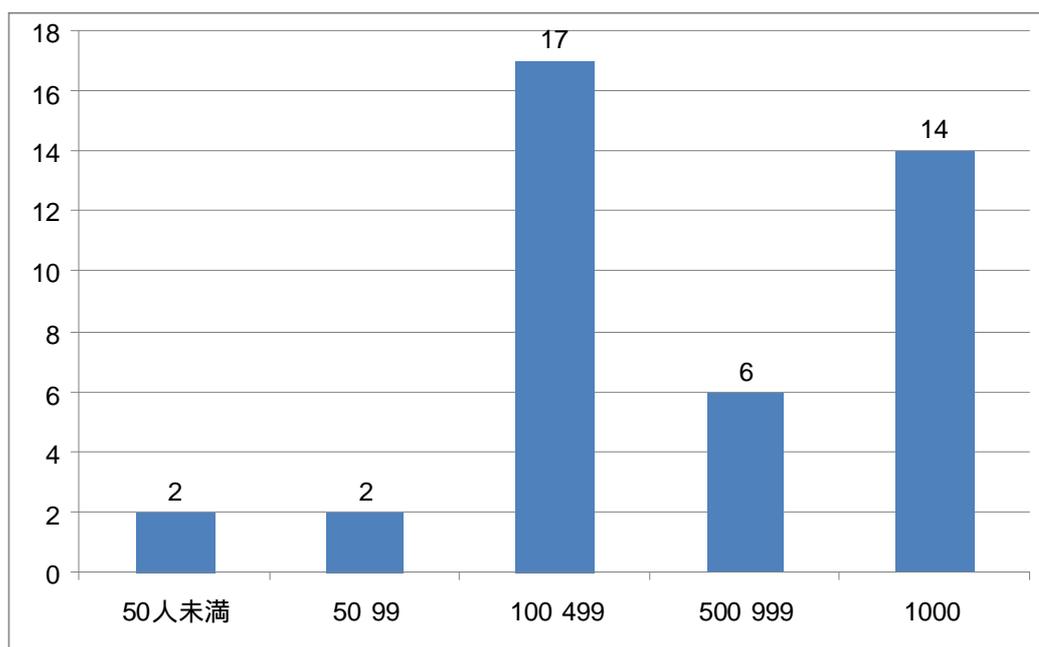


県内事業所における健康管理対策等に関する取組の状況（平成22年度）

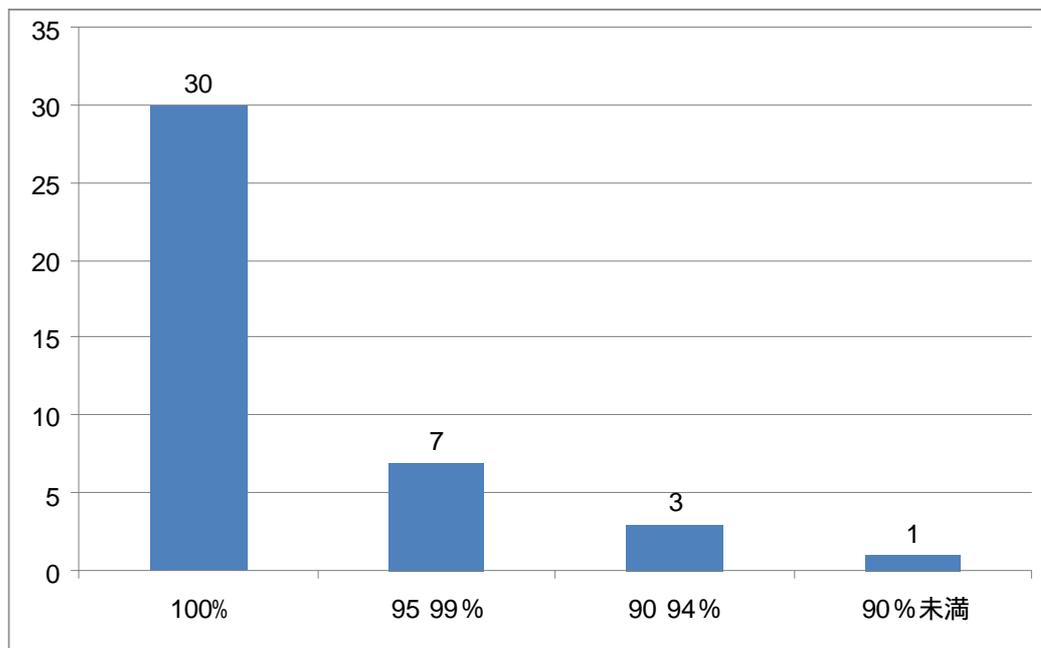
Q1. 業種について（n=41）



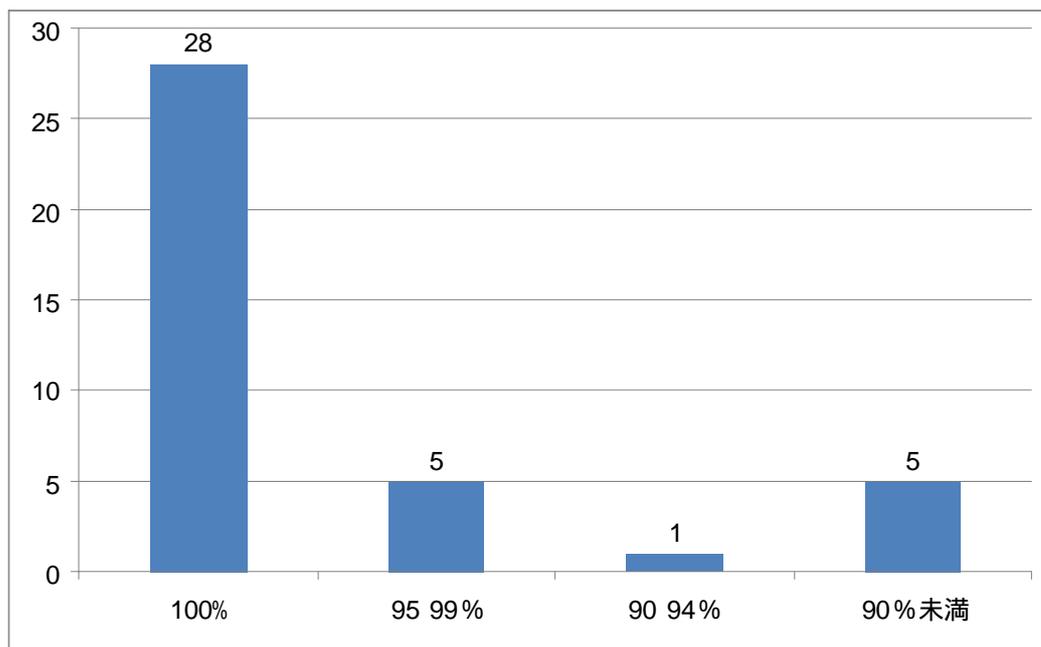
Q2 従業員規模（n=41）



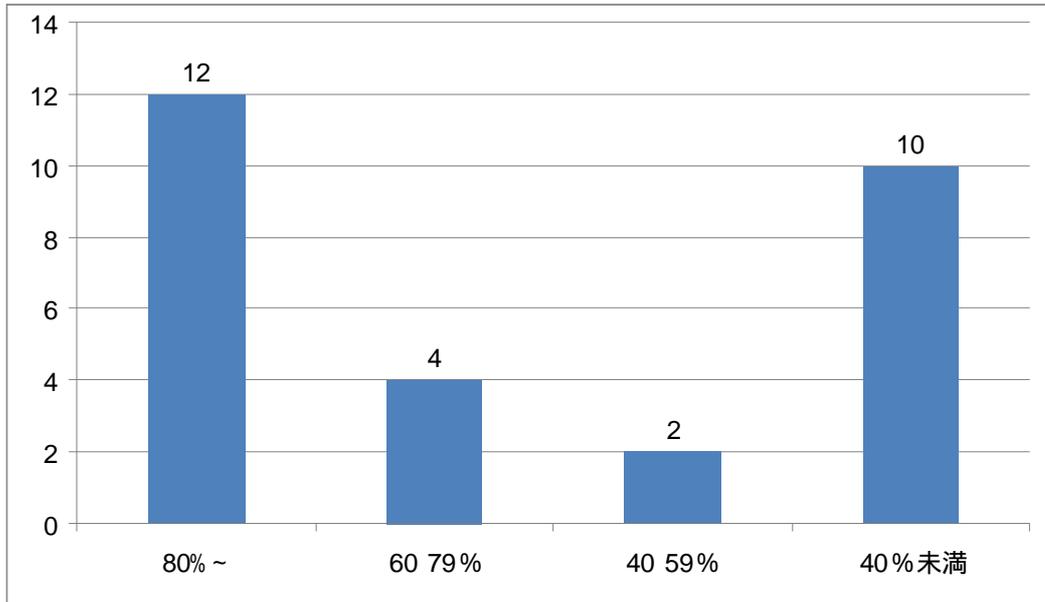
Q 3- . 平成 22 年度における一般健診の受診状況 ( n=41 )



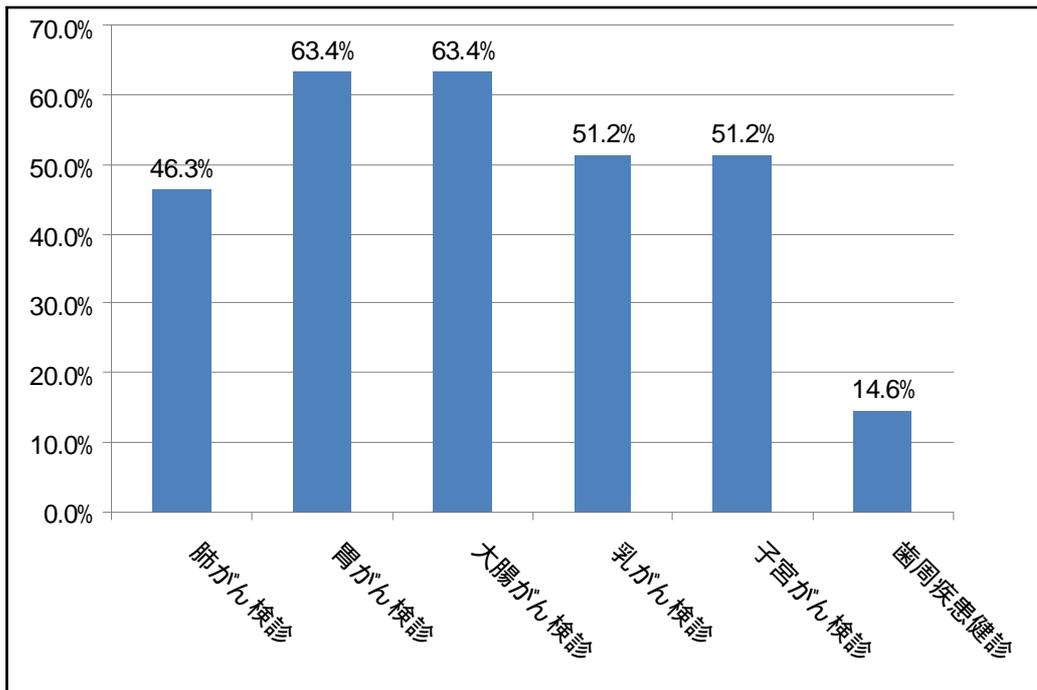
Q 3- . 平成 22 年度における特定健診の受診状況 ( n=38 )



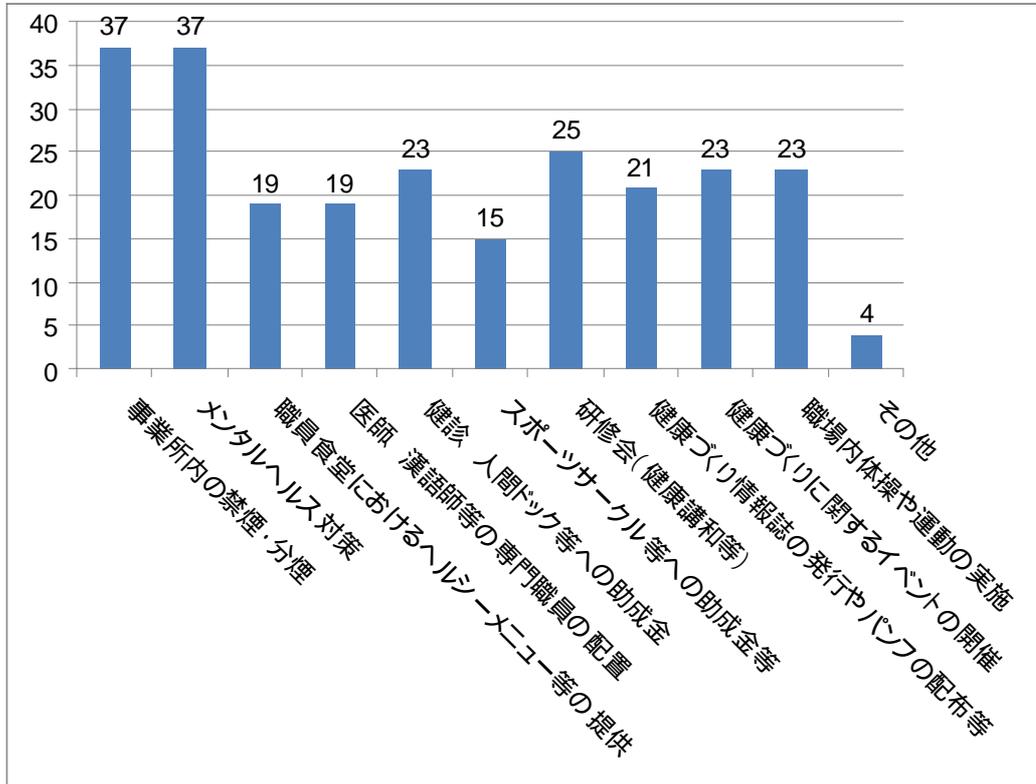
Q 3- . 平成 22 年度の事業所における特定保健指導の実施状況 (n=28)



Q 3- 、 . 平成 22 年度においてがん検診、歯周疾患健診を実施している事業所の割合 (n = 40)

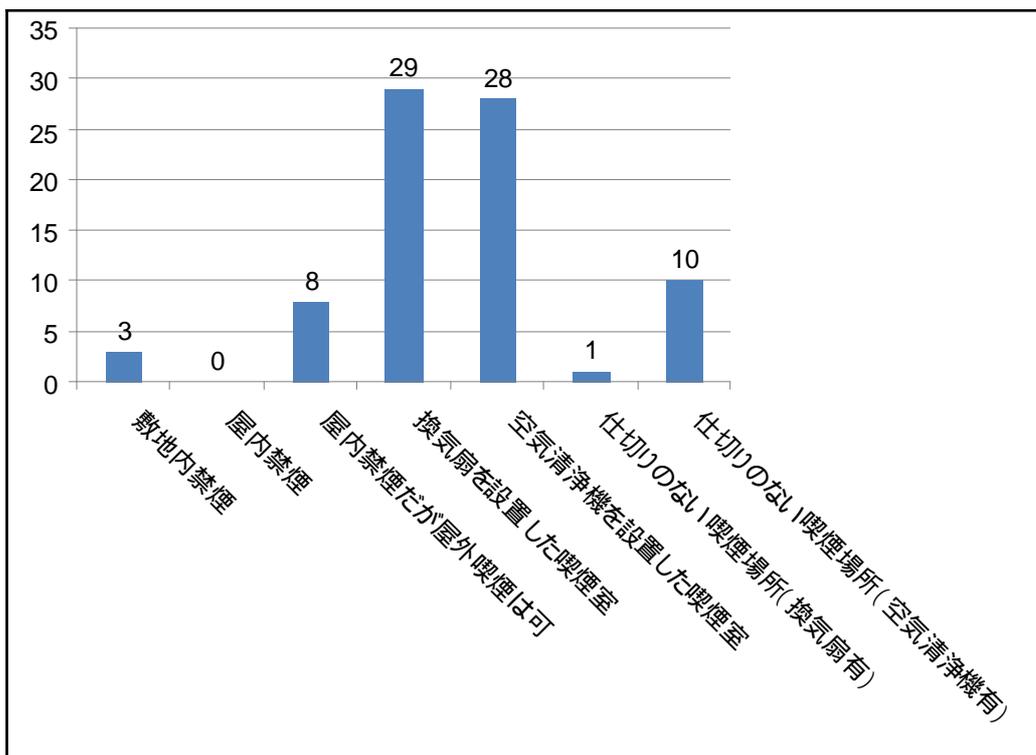


Q 4 . 平成 22 年度において事業所で取り組まれている健康対策 (n=41)

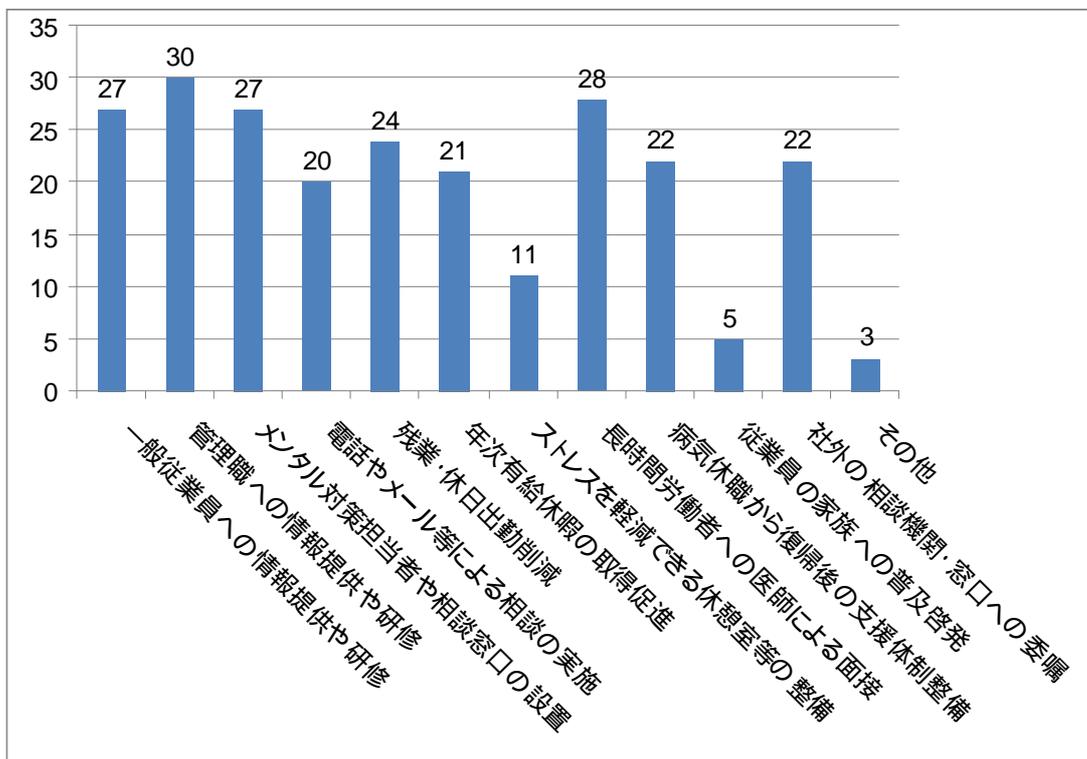


その他・・・産業医・保健師による健康相談等、社内 LAN による健康情報提供と相談対応等、TFT、保健師による健診有所見者のフォローアップ、指導内容を個人健診台帳に記入

Q 5 - . 平成 22 年度における事業所内の禁煙・分煙の状況 (n=36)

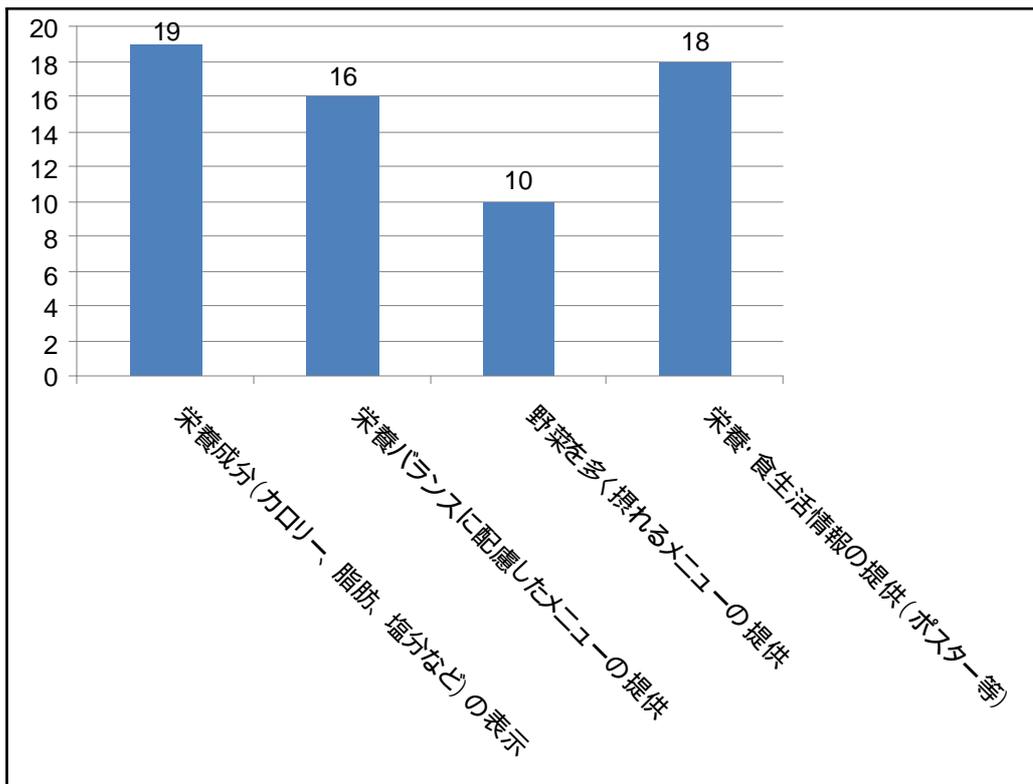


Q 5- . 平成 22 年度において事業所で取り組まれているメンタルヘルス対策 (n=36)



その他・・・職業性ストレス簡易調査実施、心の健康診断の実施、ホウレンソウ運動の推進

Q 5- . 職員食堂における健康メニューの提供等 (n=19)



Q6. 事業所において顧客や県民等の健康づくりを推進するため、昨年1年間で取り組んだ内容

- ・ 社内イントラによる健康関連のポスター掲示
- ・ 食堂業者とタイアップし、健康相談会の実施（血压、体脂肪測定、栄養成分展示会）
- ・ 社内メールで必要性を情報として提供していく
- ・ 県、市主催のイベントへの協力
- ・ 美し国駅伝大会、いきいきみなウォーキング、鈴鹿シティマラソン、亀山マラソン、中学校新人サッカー大会等
- ・ スポーツインストラクターによる忍にん体操の普及【メナード青山リゾート】
- ・ 個人負担金の無料化、特定保健指導会場提供
- ・ 夏祭り（8月）を実施した際、健康に関するブースを設置し啓蒙活動を行っています。昨年度は、ヘルピー協働隊（松阪保健福祉事務所）にもご参加いただき、従業員や、祭りの観覧に来られた地域の方々に健康情報を提供しました。
- ・ メタボ予防の支援活動として運動習慣定着化活動（ウォーキング&筋トレスタンプラリー）の継続と参加者拡大施策の企画・推進、保健指導対象者の健康に対する意識改革への支援、喫煙者の禁煙支援施策の企画・推進【旭化成ケミカルズ（株）鈴鹿事業場】
- ・ 特定健診受診率100%を維持。特定保健指導の実施立を向上するために、自宅での指導も案内する。
- ・ 現在、地元玉城病院関係の保健師に週1回健康相談で来ていただいておりますが、定期健診後の半年は週2回来ていただけるよう、契約を見直していきたいと思います。【京セラミタ株式会社玉城工場】
- ・ 地元小学校の社会見学を受けれた際、豆味噌の栄養・効能についてを説明
- ・ 特定健診は年齢30歳からとし、全社員が必ず受けるように指導する
- ・ 毎年度4月1日在籍の職員、非常勤においては、特段の理由がない限り100%に近い受診率で受診しており、今年度も同様に実施【三重労働局】
- ・ 「職場環境の向上」をテーマに健康支援の取組を実施。具体的には喫煙実態アンケート（全社）を行い、集約結果をもとに2011年11月1日より禁煙推進活動を開始【サラヤ株式会社 伊賀工場】
- ・ 保健スタッフによる保健指導。定期健康診断結果に基づく要精密再検査受診者に対する受診指導の徹底【中部電力株式会社三重支店】
- ・ 労使共催によるみかん狩り、スキー大会、ウォーキング大会、スポーツフェスティバルの実施
- ・ （1）分煙コンサルティングの実施・適切な分煙推進  
たばこを吸われる方と吸われない方の双方にとって、心地よい空間をつくるため、喫煙スペースの作り方についてのコンサルティングを実施し、行

政や民間企業と協働して公共の場所等に、たばこを吸われない方に配慮した位置へ喫煙場所を創設。

### (2) 喫煙マナーの啓蒙

「ひろう」という体験を通じて、「すてない」気持ちを育てたいという想いからスタートした「ひろえば街が好きになる運動」という市民参加型の清掃活動を、各自治体と協働して県下の3つの催事で実施。合計4159名の一般市民の方に参加していただいた。

たばこを吸う人自身がたばこのマナーについて気づき、考え行動するよう「あなたが気づけばマナーは変わる！」という喫煙マナー啓蒙広告を新聞などに掲載した。

### (3) 未成年者喫煙防止活動

7月に県内11ヶ所、11月に県内12ヶ所で未成年者喫煙防止街頭キャンペーンを実施。また、県内関係機関73ヶ所へ未成年者喫煙防止ポスターの掲出と啓蒙物品の送付 【日本たばこ】

- ・ 毎月1日を禁煙デーとして、事業所内で放送、ポスター等で禁煙の啓蒙を実施。職場内で喫煙を限られたスペースに設定し、受動喫煙による影響を減らしてきた。喫煙の健康に与える影響を社内報でアピールし、禁煙する人を増やした。健康診断の全員受診にむけて、広報・通知を徹底し業務の調整をはかった。不規則な食生活、とりすぎ予防のため、ポスター、パンフレットで啓蒙活動。健康診断後の保健師さんの巡回指導を活用し、昼休み健康相談の時間を設けた。関係団体が取り組む献血活動への協力による自己の健康状態の把握。部署ごとに朝礼でのラジオ体操の実施やストレッチ体操を取り入れた。インフルエンザ等感染症予防のため、薬用ハンドジェル、マスクを出入り口に設置し、うがい手洗い励行を広く呼びかけた【クラユニコーポレーション】
- ・ 幼稚園児、小学校児童を対象とした店頭での食育プログラムの展開（期間中 実施回数 参加園児・児童数 454名）。エネルギー（kcal）および、食事バランスガイドのSV数を記載したレシピカード発行3品/週。同上データ掲載の三重県立相可高校調理クラブ編 クッキングブックの制作・発売【マックスバリュ中部株式会社】
- ・ 定期健康診断有所見者に対し、二次健診の実施指導。有機溶剤、接着剤使用者にマスク、メガネ等保護具着用指導。【日泉科学株式会社三重事業所】
- ・ 栄養運動に関して、有所見率が高まる30代前半を対象として全従業員に実施をしております。今後も現場付近に面談場所を設定し、離職時間をできるだけ短縮します。また、従業員の増加に伴い、健診後タイムリーに面談の実施ができない傾向にあったため、健診の実施時期を変更することで上記問題を改善します。【株式会社東芝セミコンダクター社 四日市工場】
- ・ 社員食堂でのTFTメニュー、ヘルシーサポートメニューを取り入れ【JSR（株）四日市工場】
- ・ 平成22年4月1日に三重県との協働により「がん検診受診率向上に向けた取組」に関して契約締結。専用リーフレットを使って、県内の代理店ネット

ワークによる啓蒙活動を行った。また、がん検診受診率向上に向け、三重大学医学部をはじめとしたワーキンググループに参加している。会社としても「お客様をがんからお守りする運動」を展開中である。【東京海上日動火災保険株式会社】

- ・ 地元住民の方を交えてフェスティバルを開催し、その中出イベントとして血管年齢の測定など健康づくりの推進をはかった。
- ・ 禁煙対策・禁煙外来の紹介、産業医による講話、座談会
- ・ がん検診受診率アップ推進・医療機関との連携と周知、啓蒙活動（出前プレゼン教室）レターの発信
- ・ 野菜を食べようキャンペーン
- ・ 健康増進イベント（ウォーキングデー5月~9月 1回/月 計5回開催、トライウォーク 10月~2月 5ヶ月間 個人目標設定 推進・1回/年 体力測定実施による個人の気づき）喫煙対応（職場禁煙促進巡回による禁煙サポート、管理監督者を対象とした喫煙講演会）【本田技研工業 鈴鹿製作所】
- ・ 近隣住民の方へ、会社の機関誌を発行している。その中で産業医による健康に関する情報コラムを掲載。【三菱化学四日市事業所】

Q7 - 1. 平成 23 年度における各事業所での取組（特定健診受診率、特定保健指導の実施率向上に向けた取組）

- ・ 対象者に検診実施の案内と呼びかけ【九鬼産業】
- ・ 社内啓発、健診日の複数日設定（もともと複数日だが更に柔軟に対応する）
- ・ 社員及び社員の家族への周知
- ・ 特定健診受診率 100%に向けた検診日の複数設定と日程調整（全 9 日間開催）
- ・ 特に通院等している者以外の従業員には必ず受診するよう促しています。（健診受診項目として）【メナード青山リゾート】
- ・ 個別に受診の対応をしている。特別な取組は実施していない。【生活協同組合コープみえ】
- ・ 個人負担金の無料化
- ・ 年度初めより従業員および家族への健診をすすめるポスターを掲示するとともに、施設内ウェブにて広報活動を実施しています。従業員への特定保健指導については、実施率の向上を高めるために、対象者へは個別にご案内を送付する予定です。
- ・ 受診者（希望者）拡大施策の企画・推進【旭化成ケミカルズ（株）鈴鹿事業場】
- ・ 定期健診と同時実施。保健指導案内、実施を健康保険組合から委託を受けて社内産業医、保健師が運営。実施立向上のために、管理監督者も参加をうながすよう協力体制にある。
- ・ これまで実施してきた取組を継続【住友金属鉱山レックス（株）三重工場】
- ・ 有所見率を改善することを目的とした健康教室の実施。生活習慣病の予防、食事療法を中心とした「栄養と健康」について、疾病について など
- ・ 健康支援の取組として要治療該当従業員に対し「定期健康診断検査受診届」を作成し、関係部署への提出を促すように指導するとともに、ヘルスケア休暇を新た内付与し、受診、通院、治療しやすい環境を整える。【サラヤ株式会社 伊賀工場】
- ・ 受診勧奨
- ・ JTでは保健師による健康診断事後措置（社員全員面談）を実施していることから、ジェイティ健康保険組合より「特定健診および特定保健指導」の業務委託を受け、実施率の向上に向けた活動を展開している。

（1） 特定健康診受診率向上にむけた取組み

従来、安衛法に基づく「定期健康診断」の受診率は 100%である。そのため、特定健診受診率も 100%となっている。

（2） 特定保健指導の実施率向上にむけた取組み

健康診断結果通知書に特定保健指導の階層化を明記し対象者へ通知している。

全社員に対して「メタボリックシンドローム」に係る集団指導を実施。

「動機付け」および「積極的」支援対象者に対し、集団および個別指導を実施。

社内メールを活用し、継続指導を実施。 【日本たばこ】

- ・ 22年度は積極的支援対象者に支援実施（継続中）。23年度は動機付け支援対象者に拡大展開。安全衛生委員会で特定保健指導への参加要請 ほか
- ・ 全員受診に向けた広報、通知の徹底。業務の調整。保健師さん巡回指導の活用【クラユニコーポレーション】
- ・ 健康保険組合、グループ互助会発行のリーフレットの配布【マックスバリュ中部株式会社】
- ・ 健康診断結果に基づく事後措置（時間外、休日労働時間削減）。1日あたり約1万歩を目標に運動しましょう 【日泉科学株式会社三重事業所】
- ・ 特定健診、特定保健指導の高い水準での実施と改善
- ・ 自主健康管理意識の醸成
- ・ 保健指導対象者にメールや電話を通して個別にきめ細かい呼びかけを実施
- ・ 健診結果（履歴）の閲覧普及
- ・ ポスター掲示、資料配付、社内LAN等による啓発活動
- ・ 健診実施率は常に100%となっていますが、特定保健指導という形では実施していませんが、健診事後措置面談として全従業員に実施をしております。今後も現場付近に面談場所を設定し、離職時間をできるだけ短縮します。また、従業員の増加に伴い、健診後タイムリーに面談の実施できない傾向にあったため、健診の実施時期を変更することで上記問題を改善します。【株式会社東芝セミコンダクター社 四日市工場】
- ・ 専用ソフトを使っての受診者の管理。産業医、看護師、トレーナーが協力しての対象者へのサポート【JSR（株）四日市工場】
- ・ 特定健診受診率は100%継続・検診結果報告の個別面談時に、特定保健指導対象者へは、必要性を説明し、同時に初回面談が実施できるよう計画する。特定保健指導対象者は、例年同対象者となることが多いが、パンフレットなど、新情報で変化をつけフォローアップする。【東京海上日動火災保険株式会社】
- ・ 検診バス配車による事業所内実施。関連リーフレット、ポスター掲示による啓発
- ・ 管理職ミーティングでのPR。各課所属長へのメールによる連絡【八千代工業】
- ・ 勤務時間内での離職による指導実施において予約など職場の所属長経由で調整実施【本田技研工業 鈴鹿製作所】
- ・ 厚労省の目標実施率を達成できるようスケジュール化、支援内容をフロー化して取り組む。【三菱化学四日市事業所】

Q7 - 2 .平成 23 年度における各事業所での主な取組（がん検診）

- ・ 受診者への確実な検診案内。未受診者への督促による啓蒙
- ・ 対象者への案内【九鬼産業】
- ・ 社内啓発。健診日の複数日設定（もともと複数日だが更に柔軟に対応する）
- ・ 健康診断申込時に啓蒙
- ・ 年齢、男女別で健診メニューを設定
  - 50 歳以上男性従業員対象に PSA（前立腺がん）検査実施
  - 35 歳以上の男性従業員および女性従業員対象に、胃がん、大腸がん検診を実施
  - 女性従業員に乳がん、子宮がん検診実施
- ・ 会社での健診内容は、すでに定められているため、それ以外は任意で行います。健康に関する冊子等を検診後配布する程度です。【メナード青山リゾート】
- ・ 個別に受診の対応をしている。特別な取組は実施していない。【生活協同組合コープみえ】
- ・ 胃がん、大腸がん検診については、定期健康診断と同時に実施することで、実施率の向上を図っています。また、女性のがん検診についても、今年度も巡回バスを依頼する予定です。
- ・ 定期健診と同時実施（胃・大腸）。その他のがん検診 健保組合で PR、受診契約病院のとりまとめ等
- ・ 会社の健康診断には「がん検診」は含まれていませんが、個人が病院で「がん検診」を受けた場合、3 万円を上限に補助金が受けられます。【京セラミタ株式会社玉城工場】
- ・ 人間ドック受診費用補助
- ・ 前立腺がん、乳がん、子宮がんを定期健診とあわせて行えるようにしている。
- ・ 乳がん健診については、30 歳以上の女性職員に共催組合からの助成をもうけている【三重労働局】
- ・ 定期健康診断実施時、肺がん、胃がんの他に大腸がんと子宮がん（希望者のみ）検診を実施【サラヤ株式会社 伊賀工場】
- ・ ・大腸がん（便潜血）胃透視（バリウム）胸部 X 線、子宮・乳がん検診 すべてのがん検診において付加検診を PR していく。動機づけ支援【日泉科学株式会社三重事業所】

- ・ 乳がん、子宮がん検診の推進、禁煙指導活動の充実
- ・ 交替勤務やクリーンルーム内での勤務は、胃がん検診でバリウムや空腹時での検診受診を困難にさせ、受診率も7割程度にとどまっております。そのような状況ではありますが、年代別教育(2年後にがん検診を控えた社員対象)を実施し検診の重要性を伝えたり、上記理由等で勤務中の受診が困難な場合、健康保険組合の助成金制度を利用し、外部受診できる方法の周知をしていきます。【株式会社東芝セミコンダクター社 四日市工場】
- ・ 検診に対する補助金支給。冊子や社内掲示での広報【JSR(株)四日市工場】
- ・ 30歳以上必須：胃検診(胃カメラも可) 便潜血検査【オプション検診】PSA検査(50歳以上) 喀痰検査(喫煙者・40歳以上) 子宮がん検診(全員) 乳がん検診(30歳以上) 定期健診と同時にがん検診受診できるよう配慮。検診項目の内容説明や、女医対応可能な検診日日程など照会、個別にも受診勧奨。二次検査100%受診勧奨【東京海上日動火災保険株式会社】
- ・ 近隣医療機関との連携、受診しやすい環境づくり
  - ・ がん検診セットの作成、予約しやすい仕組み  
情報提供と周知
  - ・ がんと疾患の関係や影響についての情報HPの活用
  - ・ 組織力で周知を行う  
教育啓蒙
  - ・ 産業医講話、支援レターの発行
- ・ 昨年度プロジェクトを立ち上げ、事業所内でバリウムや空腹時での検診受診を困難にさせ、受診率も7割程度にとどまっております。そのような状況ではありますが、年代別教育(2年後にがん検診を控えた社員対象)を実施し検診の重要性を伝えたり、上記理由等で勤務中の受診が困難な場合、健康保険組合の助成金制度を利用し、外部受診できる方法の周知をしていきます。【株式会社東芝セミコンダクター社 四日市工場】

### Q7 - 3 .平成 23 年度における各事業所での主な取組（メンタルヘルス対策）

- ・ 社内での体制づくり【ぎゅーとら】
- ・ 産業医からの健康講話の実施【九鬼産業】
- ・ セルフケアの情報と必要性は既に安全衛生委員会で説明済みのため、23 年度は社内のメンタルヘルスの度合いがどの程度のものか、アンケート調査を行う。またラインケアへの取組も経営幹部へ説明を行っていく【松阪鉄工所】
- ・ 第三者相談窓口の有効な活用をはかる。(ex 社内講演会、デモ相談会実施予定)。部署ごとにリスクを洗いだし、業務における担当者の変更や人員の増強を図る。
- ・ 新入社員研修。管理職研修。相談窓口の周知
- ・ メンタルヘルス教育実施。リスナー教育（リーダークラス）ライン職によるメンタルヘルス教育。ストレス調査を行い、メンタル予備軍者に対してのフォローを実施
- ・ 病気休職や育児休業の終了 1 ヶ月前に個人面談（人事担当者との）を行い、復帰前後の不安を取り除くようにしています。【メナード青山リゾート】
- ・ 部下を持つ職員への研修を実施している。【生活協同組合コープみえ】
- ・ 施設内ウェブ（インターネット学習）を利用したセルフケア、ラインケアの教育、情報提供を行うとともに、職場懇談会などの実施を行います。また、今年度も加重労働者への産業医面談、深夜業健診の実施なども実施する予定です。
- ・ メンタル不調者への的確な対応・フォロー（関係者との連携）は勿論の事であるが、主体は「予防」のための支援に重点を置き、現状の支援活動を継続展開する。
- ・ セルフケアの充実（教育、カウンセリング）、ラインケアの充実（教育、管理監督者との情報交換）、生き生き職場醸成活動（職場活性化活動）、＜アクションプラン推進の為にフォロー体制強化・推進＞【旭化成ケミカルズ（株）鈴鹿事業場】
- ・ メンタルヘルスチェック 定期健診と同時実施。相談窓口を社外にも作る。カウンセリング室との連携。管理職教育（検定試験合格者 100%めざす）。メンタルヘルス検定 種。研修の実施。メンタルヘルスケアのサポート（社外の相談機関利用、資料配付）【住友金属鉱山レックス（株）三重工場】
- ・ 残業・休日出勤の削減。管理職への情報提供（出退勤時間外集計表）。長時間労働者への産業医による面接を実施
- ・ 社内掲示板に相談電話番号（工場長）を掲示、週 1 回の保健師来場時に、希望者には面談していただいております。【京セラミタ株式会社玉城工場】

- ・メンタルヘルス推進委員を置き、社内のメンタルヘルスにおいて活動していく。ラインケア、セルフケアを全社で行う
- ・「ストレス耐性強化」のため、企業教育（管理監督者）の役割と支援についての見直し実施予定
- ・本社開催の講義に参加する。メンタルヘルス啓発用メディア（DVD等）の利用を検討する。【サラヤ株式会社 伊賀工場】
- ・労働衛生委員会の議題として取り上げる
- ・主任、管理職への昇格時におけるメンタルヘルス研修の実施。新入社員を対象とした社外カウンセラーによる体験カウンセリングの実施。保健スタッフによる職場巡回、面接による助言【中部電力株式会社三重支店】
- ・管理職、新任管理職、新入行員に対する研修。職場復帰支援。メール、電話など相談窓口の設置。入行時特別面接（3月～4月）
- ・以下の活動を継続。メンタルヘルス教育（セルフケア、ラインケア）復職支援制度、こころの相談室開設、長時間労働者への健康診断、産業医面談等
- ・ストレスに対する気づきの援助、明るい職場づくり【日泉科学株式会社三重事業所】
- ・webによるストレス診断の一斉実施、社内メンタルヘルス相談窓口の案内、メンタルヘルス教育の実施、メンタルヘルスの個別相談対応、休職者の状況に応じた職場復帰の支援
- ・新管理職等へのメンタルヘルス教育。社員全体へのメンタルヘルス教育【JSR（株）四日市工場】
- ・毎月発信の「健康相談室ニュース」の中でカウンセラー、精神科 Dr 来室日、こころの相談窓口への紹介メールを発信、メンタルヘルス情報。（社内、社外の相談窓口などが設置されている）「職業性簡易ストレス調査」（端末から個別にいつでも可能）一斉に一年に一回実施し、必要に応じ個別にF/U、職場別にも判定。衛生委員会において健康講演会開催について検討する【東京海上日動火災保険株式会社】
- ・月4回メンタルヘルス個別相談会を実施（カウンセラーによる）月2回精神科医による診察を実施。管理職、一般職へのメンタルヘルス研修会の実施。外部医療機関と提携し、メールやウェブでタイムリーに相談室を設けている。
- ・メンタル相談（精神科医、保健師による）
- ・メンタルヘルス講話（管理者対象、講師・産業医）ストレスマネジメントセミナー（一般社員対象）ストレスチューブ
- ・関連研修会等への参加による情報収集、定時退社日の設定等による超過時間削減、産業医によるヒアリング実施
- ・管理職対象 コミュニケーション講座 30人（81.1%）、リーダーコース リスナー研修 17人（68%）修了【八千代工業】
- ・気づき・ストレスチェックの定例化及び結果、高ストレス者への面談対応、フォロー。職場改善・組織診断・分析による職場環境改善、支援体制、職場復帰支援体制の確立【本田技研工業 鈴鹿製作所】
- ・保健師によるメンタルヘルス健康教室開催、専門医によるこころの相談室開催、メンタルヘルス研修会開催、産業医による相談対応、メンタル休業者の

## 復帰支援体制強化【三菱化学四日市事業所】

### Q7 - 1 .平成 23 年度における主な取組（健康づくり）

- ・ 社内イントラによる健康関連のポスター掲示、食堂業者とタイアップし、健康相談会の実施（血圧、体脂肪測定、栄養成分展示会）【ぎゅーとら】
- ・ 現在のところ実施、取組はありませんが、かもしかハーフマラソンへの協賛など、今後も継続していきたいと思います。【九鬼産業】
- ・ 番組やイベント内における啓発
- ・ 各種スポーツイベントへの協力
- ・ スポーツインストラクターによる忍にん体操の普及【メナード青山リゾート】
- ・ 組合員向け「くらしの連続講座」の中で企画をすすめる。各地域毎で「健康」をテーマに企画を進める。広報誌の連続コラムで掲載【生活協同組合コープみえ】
- ・ 今年度も可能であれば夏祭りを実施し、地域住民との交流の場にし、健康情報の提供等を実施したいです。
- ・ 禁煙推進活動の強化策の一環として下記 2 点
  - 最終目標昼休みを除く就業時間内 全館を禁煙とし、喫煙率 0 %をめざす
  - 禁煙外来ドクター講演や禁煙セミナーの実施を計画
  - A E Dの導入設置の検討をする 【サラヤ株式会社 伊賀工場】
- ・ 認知症サポーター養成講座の実施
- ・ 分煙コンサルティングの実施・適切な分煙推進
  - 公共の場の適切な分煙のため自治体との協働による喫煙場所の創設
  - 職場実態に応じた適切な分煙環境実現のための方法技術について助言
- ・ 喫煙マナーの啓蒙
  - 催事での市民参加型清掃活動・県下各地での清掃活動をとおして喫煙マナーを啓蒙
  - 広告媒体によるマナー訴求
- ・ 未成年者喫煙防止活動
  - 未成年者喫煙防止啓蒙街頭キャンペーンを関係団体と展開
  - 県内関係機関へ未成年者喫煙防止ポスターの掲出、啓蒙物品を援助 【日本たばこ】

- ・ 禁煙デーを制定して、事業所内で放送、ポスター等で禁煙の啓発を継続。幼稚園児、小学校児童を対象とした店頭での食育プログラムの展開(期間中 実施回数 参加園児・児童数 454名)。エネルギー(kcal)および、食事バランスガイドのSV数を記載したレシピカード発行3品/週
- ・ 同上データ掲載の三重県立相可高校調理クラブ編 クッキングブックの制作・発売【マックスバリュ中部株式会社】
- ・ ソフトボール大会、ゴルフ大会等スポーツ振興・参加 【日泉科学株式会社三重事業所】
- ・ ウォーキング活動の継続、活性化。全従業員対象による健康意識調査の実施
- ・ THP(トータルヘルスプロモーション)専門委員会を中心に健康管理部門、他関係部門と連携をはかりながら取組を実施しています。今年度は「食事バランスデー」を月1回設定し、バランスツールの普及と意識の向上をはかります。また昨年オープンした敷地内グラウンドを利用したのフリースロー大会を実施したり、腰痛・つまづきを予防すべく、新ストレッチ体操の導入の検討など楽しみながらできる健康づくり活動を計画しております。【株式会社東芝セミコンダクター社 四日市工場】
- ・ 社員食堂でのTFT(Table for Two)メニュー取り入れ。ヘルシーサポートメニューの取り入れ【JSR(株)四日市工場】
- ・ 三重県とがん検診受診率向上に向けた協働取組に関する協定を締結し、専用リーフレットによる啓蒙活動を展開していく。会社としては「お客様をがんからお守りする運動」を展開継続していく【東京海上日動火災保険株式会社】
- ・ フェスティバルで健康増進イベントを行う予定
- ・ 喫煙に対する世の中の動向は加速している。非喫煙者/喫煙者の健康阻害防止による喫煙者の削減への取組
- ・ 禁煙チャレンジ期間を確定し、禁煙。職場に出向き、禁煙推進サポート。たばこに関する講演など【本田技研工業 鈴鹿製作所】
- ・ 近隣住民へ提供している機関紙へ産業医によるコラムを掲載【三菱化学四日市事業所】